



「昭和ひとけた会」が生んだ 3大メガバンク誕生秘話

本誌主幹

大 中 吉 一

廣野ゴルフ倶楽部

川奈ホテルゴルフコース 富士コース

いよいよ待ちに待った2023年のゴルフシーズンが始まります。

コロナで明け暮れ、ままならぬ日々から脱し、広々とした空と大地に身を委ねる開放感がやってくるのです。

そこで、今回は「川奈ホテルゴルフコース富士コース」を紹介したいと思います。ここは米国ゴルフマガジン誌が選出する2021年〜2022年の『世界ゴルフ100選』において、62位に選出された日本が世界に誇る名門コースの1つで、温暖な伊豆の気候に恵まれたシーサイドコースです。

富士コースの開場は1936年（昭和11年）で「川奈ホテル」の開業と同時にオープンしました。

コース設計は世界的なコース設計家であるイギリス人C・H・アリソン氏で、自然の地形を生かした美しいコースレイアウトですが、巧妙に配置された深いバンカーのせいで、東洋で一番難しいと言われます。とくに、フロントティーとバツ

クティーではコースの攻略方法が全く違うという特徴は他に例を見ないコースです。

このコースを最初に訪れたのは、「昭和ひとけた会」のメンバーである元商船三井社長の轉法輪泰氏のご紹介でした。あとのメンバーをお任せすることでしたので、日本航空社長だった利光松男氏をお誘いしました。

利光氏は小田急電鉄創業者の子息であり、日本航空の生え抜きとして社長になり、大いに手腕を振るわれましたが、ゴルフも大好きな方で、年に2回はお付き合いの深かった海運業界の方たちも交え、参加者のために前夜に「川奈ホテル」で宴席を設け、翌日に「富士コース」でゴルフをするというスケジュールで、実に楽しい「交悠録」を演出してくださいました。

もう1つ、昨年の『世界ゴルフ100選』には選ばれているのが兵庫県三木市にある「廣野ゴルフ倶楽部」で、1932年（昭和7年）開場という歴史のあるコースです。丘陵・林間コースであり、全体的にフラットですが、随所に自然のうねりを取



川奈ホテルゴルフコース富士コース

り入れ、優美さとダイナミックさが融合されているコースです。

ゴールデンウィーク 大渋滞の思い出

さて、「昭和ひとけた会」での「川奈ホテルゴルフコース富士コース」

における思い出ですが、ある年、ゴールデンウィーク真つただ中の5月3日に、三井住友銀行の末松謙一氏、日本IBM社長の椎名武雄氏、そして日本生命の伊藤助成氏というメンバーでゴルフの約束をいたしま

した。末松氏が幹事役を引き受けてくださり、当日は道路が混むだろうとの予測で、前日の夜に赤坂の「口悦」で宴会が終わるとそのまま富士に向かったのですが、あに諮らぬや、すでに厚木で大渋滞に巻き込まれ、到着はとうに夜半を過ぎていました。

私はと言えば、相模原にある自宅を朝5時に出発しましたが、東名高速は夜通しの渋滞という有様で、小田原厚木道路から箱根ターンパイクを経由したのですが、到着したのは午前11時30分過ぎとなつてしまいました。伊藤氏の方も大いに頑張つてこられました。到着は正午ごろという事態でした。

椎名氏はその頃からすでにヘリコプターを使用されており、前日は軽井沢でゴルフをされ、そのまま宿泊して朝軽井沢から空路いらしたそう。結局のところ椎名氏を3時間以上お待たせし、昼食を済ませてからコースに出るという仕儀と相成りました。

それがご縁で、その後も年に3〜4回はさまざまな名門コースを舞台に「交悠録」を重ねましたが、そん

な折、同中の車内でラジオを聴いていますと、ウシオ電機の牛尾治朗氏が、「高度成長で銀行の数が多くなりすぎて、大手企業への要求に応えられない。銀行が13行あるのなら統合して、その半分くらい、7行ほどのメガバンクとするべきだ」という発言を耳にしました。

末松氏が率いる三井住友銀行は、そもそも三井銀行と太陽神戸銀行の合併により誕生した、太陽神戸三井銀行であり、さくら銀行になったのちに住友銀行と合併し三井住友銀行になった経緯があります。

当時、ダイヤモンド社が毎年、「好きな銀行」と「嫌いな銀行」のランキングを発表していましたが、なぜか住友銀行はその両方でトップとなる不思議な存在でした。私は当時の西川善文頭取に「待っていても嫁の来ては見つからないから、積極的に早く決めた方が良い」と進言し、千鳥ヶ淵のフェアモントホテルに住友銀行の西川氏と三井銀行の末松氏を呼び出し、お引き合わせをすること。合併の下地を作りました。

その後、三井と住友が合併し、三井住友銀行となりましたが、牛尾氏

の7行くらいという発言を受けて、「昭和ひとけた会」の会合で牛尾氏に「それなら3行でよいのではありませんか」と申し上げたのを覚えております。その通り、現在では「三菱UFJ銀行」「みずほ銀行」そして「三井住友銀行」という3つのメガバンクに統合されたのはご承知の通りです。この3行のメガバンクと日本企業が一致団結して世界と勝負し、日本の高度成長を支えたのはご存知の通りですが、残念ながら現在は甚だ情けない状態となつてしまつています。

確かに「ゆとり教育」のせいから「無から有を生む」氣質が薄れ、さらに新しい時代への投資を推進できない企業体質が作用して、「エコノミックスクアニマル」と呼ばれ世界を凌駕した日本企業の姿は見る影もありません。

日本産業界のさらなる発奮と投資、そして第2・第3の松下幸之助や本田宗一郎、盛田昭夫が登場することを願つて止みません。

ゴルフを通じての「交悠録」を重ね、さらなる日本の産業界の飛躍を期待したいと思います。